

もくじ

- ・ しあわ 幸 おうじ せの王子

しあわ おうじ
幸 せの王子

げんさく
原作： オスカー・ワイルド

イラスト： しらい ゆうこ

へんしゅう
編集： YellowBirdProject

ここはイギリスの、とあるいなかの町^{まち}です。

この町の中心にある広場には『幸せの王子』と
呼ばれている、王子様^{おうじさま}の像^{ぞう}がありました。全身^{ぜんしん}に
金箔^{きんぱく}がはられ、両目^{りょうめ}にはサファイアが、そして剣^{けん}の
柄^{つか}には、ルビーがはめ込まれていました。

ある夜^{よる}、この町^{まち}にやってきた一羽^{いちわ}のツバメが、王子^{おうじ}
の像^{ぞう}の足元^{あしもと}にとまりました。ツバメは、暖かい南^{あたたみなみ}の
国^{くに}へ向かう途中^{ちゆうちゆう}で、仲間^{なかま}たちとはぐれてしまったの
です。

「ふう、今日^{きょう}はもうずいぶん飛^とんだし、ここでひと晩^{ばん}
休^{やす}ませてもらおうかな。ああ、疲^{つか}れた・・・」

ツバメはすぐに眠^{ねむ}くなり、うとうととし始め^{はじ}まし
た。すると・・・



5

「あれ、^{つめ}冷たい。^{あめ}雨かな・・・？」

ツバメの^{あたま}頭に、ぽつりぽつりと、^{つめ}冷たいしずくが
^お落ちてきました。

よく^み見ると、^{しあわ}幸せの^{おうじ}王子の^{そう}像が、^{りょうめ}両目いっぱい
^{なみだ}涙を^た溜めていたのです。

「いったいどうしたのですか、^{おうじさま}王子様！？」

ツバメがおどろいて^{たず}尋ねました。

すると^{おうじ}王子は、じっと^{とお}遠くを^み見つめながら^{こた}答えまし
た。

